

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】令和4年1月6日(2022.1.6)

【公開番号】特開2020-90380(P2020-90380A)

【公開日】令和2年6月11日(2020.6.11)

【年通号数】公開・登録公報2020-023

【出願番号】特願2018-229649(P2018-229649)

【国際特許分類】

B 6 5 H 7/12 (2006.01)

B 6 5 H 7/06 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/48 (2006.01)

【F I】

B 6 5 H 7/12

B 6 5 H 7/06

G 0 3 G 15/00 4 8 1

B 4 1 J 29/48 E

B 4 1 J 29/48 A

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

搬送バスを搬送されるシートに画像を形成する画像形成手段と、

前記搬送バスを搬送されるシートが複数枚重なって搬送される重送状態を検知するための重送検知手段と、

前記搬送バスのシートの有無を検知するための搬送検知手段と、

前記シートの搬送を開始する前に前記重送検知手段の出力が異常を示す値であるか否かを判断し、該出力が異常を示す値である場合に、前記搬送検知手段の検知結果がシート無しを示していると、前記重送検知手段が故障していることを示す信号を出力する制御手段と、を備えることを特徴とする、

画像形成装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記シートの搬送を開始する前に前記重送検知手段の出力が異常を示す値である場合に、前記搬送検知手段の検知結果がシート有りを示していると、前記搬送バスに残留物があることを示す信号を出力することを特徴とする、

請求項1記載の画像形成装置。

【請求項3】

前記重送検知手段は、超音波を発信する発信手段及び前記発信手段から発信された前記超音波を受信する受信手段を備え、前記受信手段が受信した前記超音波の強度に応じた受信レベルの検知信号を検知結果として出力し、

前記制御手段は、前記検知信号を所定の異常判定閾値と比較することで、前記重送検知手段が故障しているか否かを判断することを特徴とする、

請求項1又は2記載の画像形成装置。

【請求項 4】

更に、情報を報知する報知手段を備え、

前記制御手段は、前記重送検知手段が故障していることを前記報知手段により報知することを特徴とする、

請求項1記載の画像形成装置。

【請求項 5】

更に、情報を報知する報知手段を備え、

前記制御手段は、前記報知手段により前記搬送バスの残留物を除去することをユーザに促す報知を行うことを特徴とする、

請求項2記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記制御手段は、前記残留物が除去されたことをユーザから受け付けると、再び前記重送検知手段の出力を判定し、再び前記搬送検知手段がシート有を示した回数をカウントし、前記回数が所定値を超えると、前記搬送検知手段に異常の可能性があることを示す信号を出力することを特徴とする、

請求項5記載の画像形成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の画像形成装置は、搬送バスを搬送されるシートに画像を形成する画像形成手段と、前記搬送バスを搬送されるシートが複数枚重なって搬送される重送状態を検知するための重送検知手段と、前記搬送バスのシートの有無を検知するための搬送検知手段と、前記シートの搬送を開始する前に前記重送検知手段の出力が異常を示す値であるか否かを判断し、該出力が異常を示す値である場合に、前記搬送検知手段の検知結果がシート無しを示していると、前記重送検知手段が故障していることを示す信号を出力する制御手段と、を備えることを特徴とする。